

福生市文化財総合調査報告VI

福生市の民俗

人生儀礼
民家

福生市教育委員会

昭和五十年

福生の民俗調査中間報告Ⅱ

福生市の民俗

Ⅱ 人生儀礼・民家Ⅱ

福生市教育委員会

福生市民俗調査 中間報告Ⅱ

人生儀礼

中間報告Ⅱは福生の人生儀礼をとりあげ、昭和五十年五月から九月までの間、調査者八名によつて十八例の報告がなされたので、川鍋がまとめて報告とした。

表記は一行目に項目を入れ、二行目以降を本文とした。本文は比較的一般的と思われる事項をとりあげた。そして一事例しか見られなかつたものは、各項目の末尾に注を附して被調査者名とともに列記した。

被調査者は次の通りである。(敬称は省略)

石川長治郎、飯野富十郎、乙津光造、斉藤菊蔵、清水吉左エ門、野島茂雄、野島きよの、野島為一、野島俊三、田村富十郎、町田一三、細谷市蔵、横田奎介、村野フク、森田惣助、渡辺継二郎、設楽美知、木村和男。

話者の選定は、福生の民俗Ⅰと同様の次の基準によつた。

一、七〇才以上であること。

二、福生で生れ、福生で育つて現在にいたつてゐること。